

令和 2年 2月

藤原紀子 学位論文審査要旨

主 査 前 垣 義 弘
副主査 南 前 恵 子
同 吉 岡 伸 一

主論文

Relationship between difficulties encountered in school life or daily life by professional training college students and their sources of advice

(専門学校生の学校生活または日常生活で直面する困難さとアドバイスのソースとの関連性)

(著者：藤原紀子、吉岡伸一)

令和2年 Yonago Acta Medica 掲載予定

参考論文

1. 専門学校教員が抱く発達障害傾向のある学生への実習指導困難感

(著者：藤原紀子、吉岡伸一)

令和2年 米子医学雑誌 掲載予定

審査結果の要旨

本研究は、専門学校生を対象に、発達障害傾向を含む自己困難認知と被援助志向性、自尊感情との関連を評価し、相談相手との関係性から教育的支援体制の課題を検討したものである。その結果、学生はもっとも困る場面は筆記試験で、困った時の相談相手としてはクラス内友人が一番多く、自己困難認知尺度下位因子では、不安抑うつ因子が高いことが明らかになった。また、自己困難認知の高い学生は自尊感情と被援助志向性が低く、相談相手に専門家を選ぶ可能性があり、関連機関の縦断的で連帯した支援の必要性が示唆された。本論文の内容は、保健学の分野で、発達障害傾向に着目して、専門学校生に対する教育支援における課題を示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。